

TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

Press Release

2024年5月15日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

東北大学保有の文化・学術資源をデジタル公開するプラットフォーム 「ToUDA 東北大学総合知デジタルアーカイブ」を新たに整備

【発表のポイント】

- 総合知の創出に寄与する知的基盤として、学内で保有するデジタル化した文化・学術資源（古典籍・大学史料・博物資料等）を文系・理系を問わず収録し、統合的に公開するプラットフォームを構築し、4月4日に公開しました。
- 初期構築では、漱石文庫をはじめとする既存デジタルアーカイブに加え、国宝2点（『史記』孝文本紀巻第十および『類聚国史』第二十五の資料全容）と1960年代学生運動関係史料コレクション『「長い1960年代」デジタルアーカイブ』約5,000件を本学として新たに公開しました。
- 本デジタルアーカイブ事業は、計画当初より、国際共同研究や教育での利用を視野に入れた研究・教育での活用を前提としたものです。
- 本アーカイブの活用法として、まずは、国際的な日本学ネットワークである支倉リーグ^{（注1）}や、世界で最大規模の分野横断型日本学コミュニティの中核を担っていくことをミッションとする統合日本学センター^{（注2）}と連携します。

【概要】

4月4日に東北大学が公開したToUDA（テューダ、Tohoku University Digital Archives、東北大学総合知デジタルアーカイブ）は、本学が保有する文化・学術資源を統合して検索・閲覧できるようプラットフォームを整備したもので、今後、総合知の創出に寄与する知的基盤として機能することが期待されます。

本デジタルアーカイブ事業の特色は、当初より、国際共同利用を視野に入れた研究・教育での活用を前提としているところにあります。まずは、国際的な日本学ネットワークである支倉リーグや、世界で最大規模の分野横断型

日本学コミュニティの中核を担っていくことをミッションとする統合日本学センターと連携を行っていくこととしています。

今回の初期構築では、本学附属図書館が所蔵する国宝 2 点、『史記』孝文本紀巻第十および『類聚国史』第二十五の資料全容と本学史料館が所蔵する1960年代学生運動関係史料のコレクション『「長い1960年代」デジタルアーカイブ』約 5,000 件を新たに公開しました。また、漱石文庫をはじめとする附属図書館の既存デジタルアーカイブからのコンテンツもすべて移行されています。今後、古典籍や古文書など順次コンテンツを拡充していく予定です。

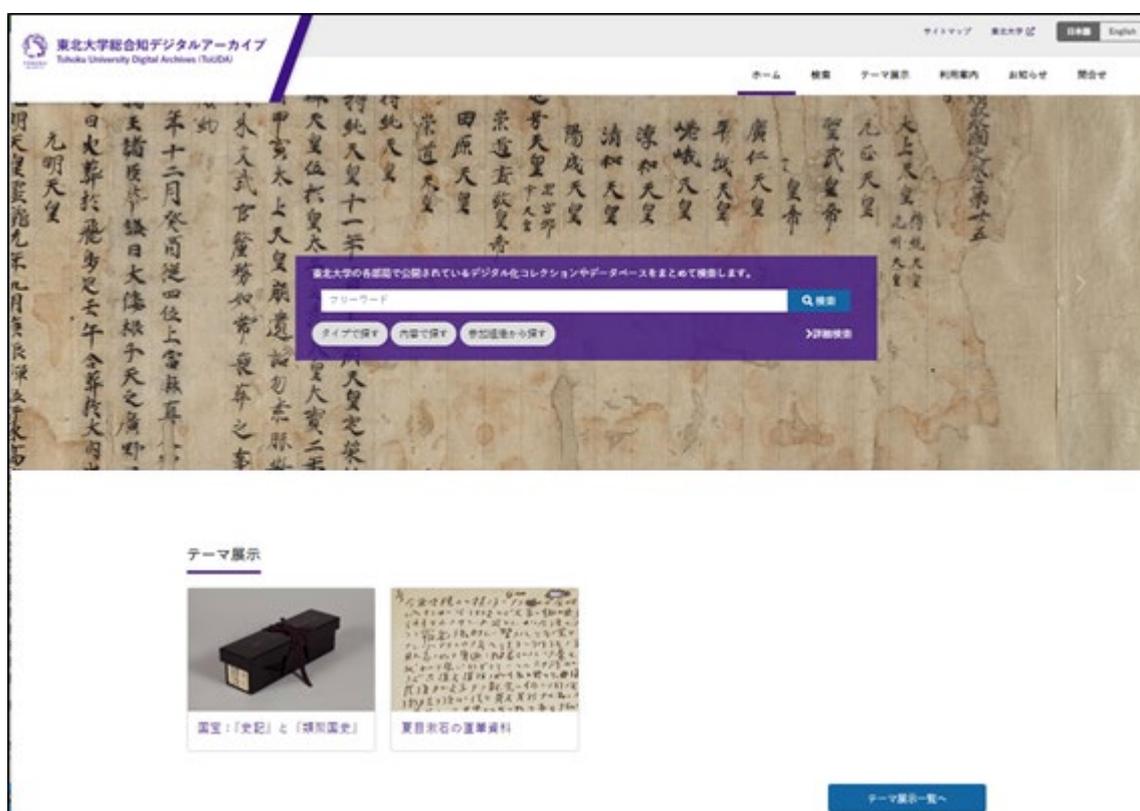


図 1. ToUDA（東北大学総合知デジタルアーカイブ）トップページ
<https://touda.tohoku.ac.jp/portal/>



国宝：『史記』と『類聚国史』



東北大学では国宝2点を所蔵しています。それが「史記 孝文本紀巻第十」（延久5年（1073）写）と「類聚国史 第二十五」（平安時代末期写）です。これらはともに大正元年に狩野亨吉から購入された資料に含まれていたものです。実物は徹底した温度湿度管理のもと、厳重に保管しています。

1. 史記 孝文本紀巻第十
2. 類聚国史 第二十五

史記 孝文本紀巻第十

「史記」は中国前漢の歴史家司馬遷(前145-86?)が書いた史書で、伝統上の天子漢帝から武帝(前140-87在位)の治世までを描く通史。本学で所蔵するのは文帝の本紀(皇帝の動静や業績を記す)である。



史記 孝文本紀 第十
シキ

文帝は前漢第五代の皇帝。中国前漢の司馬遷が著した歴史書「史記」を書写・加点(日本語で読むための記号)したもので、平安時代の延久五(1073)年写、康和三(1101)年・建久七(1196)年・建仁二(1202)年、大江家国以下の校合加点(書き入れ)と奥書に見られる。年代が明記されたのが国史古の史記写本であり、昭和27年国宝に指定された。

図2. 国宝：『史記』と『類聚国史』

https://touda.tohoku.ac.jp/collection/database/library/exhibition/20240325_natl_treas

東北大学で所蔵している国宝2点、『史記』孝文本紀巻第十および『類聚国史』第二十五について資料の全体を公開しています。いずれも昭和27年に国宝に指定されているものです。

『史記』は司馬遷(前145-86?)が編纂した歴史書ですが、本資料は、年代が明記されている最古の史記の写本です。文章博士の大江家に伝来した資料により、大江家国(おおえのいえくに)が書写したものの一部です。

『類聚国史』は平安時代に菅原道真により編纂された日本の歴史書で、同資料の写本の中でも最古のものの一つとされています。

本来は本史200巻、目録2巻、帝王系図3巻がありましたが現存しているのはそのうち62巻です。本資料の巻25は、帝王部第5に当たります。



図 3. 「長い 1960 年代」 デジタルアーカイブ

<https://touda.tohoku.ac.jp/collection/database/archives/collection/long60s>

1950年代から70年代にかけて、世界中で起きた経済・社会・文化の革命的变化を「長い1960年代」(Long 1960s)として捉える、国際共同研究に基づくデジタルアーカイブです。東北大学史料館が所蔵する学生運動関連資料や管理運営に関する歴史公文書、個人・関連団体文書がまとめられています。学生運動のビラや、大学改革に関する記録、教官有志の声明など、大学側、学生側双方の資料をアーカイブする貴重なコレクションです。



図 3. 漱石文庫

<https://touda.tohoku.ac.jp/collection/database/library/collection/soseki>

文豪・夏目漱石の自筆資料および旧蔵書からなるコレクションであり、漱石自身の肉筆による手帳や日記、ノート、試験問題、創作メモ、手紙などを多く含んでいます。2019年度から2020年度にかけて行ったクラウドファンディング事業「漱石の肉筆を後世へ！漱石文庫デジタルアーカイブプロジェクト」により、自筆資料はほぼすべてデジタル化され、このデジタルアーカイブ上で見ることができます。その他の資料についても図書館のみらい基金などにより随時電子化・公開予定です。

【詳細な説明】

背景

本学には、国宝『史記』『類聚国史』や漱石文庫に代表される附属図書館所蔵資料のほか、植物などの標本資料、大学関係文書等、長い歴史の中で収集・保存してきた様々な文化・学術資源があります。しかし、これらの資料は保有する学内組織ごとに保管され、整理・公開・デジタル公開がなされており、現在の学際的な研究の進展や、資源の社会的な共有といった状況に早急に対応する必要があります。

今回の取り組み

上記の課題の解決のため、学内の文化・学術資源のデジタル化を推進し、国内外の研究・教育に活用、また、本学におけるオープンサイエンス推進施策の一つとして、「総合知デジタルアーカイブ」事業を開始しました。

本デジタルアーカイブは、デジタル化資料を一般公開するだけでなく、研究・教育における利活用、特に国際共同利用を当初から想定しています。この立ち上げに際して、国際的な日本学ネットワークである支倉リーグや、世界で最大規模の分野横断型日本学コミュニティの中核を担っていくことをミッションとする統合日本学センターと連携することとなりました。現代的な「デジタルヒューマニティーズ」と従来型の人文学を融合することで社会的課題を新たな手法で解決していくことを目指します。

公開されたシステムは、文系・理系を問わず、本学で保有する資源のデータを収録し、それらを一つのプラットフォームから検索・閲覧でき、かつ個別のコレクション毎にも検索・閲覧できるようにしたものです。今回の初期構築では、附属図書館と史料館のコレクションを公開しており、また漱石文庫をはじめとする、図書館の既存デジタルアーカイブからのコンテンツもすべて移行されています。

今後の展開

図書館や史料館の所蔵資料のほか、学内の他の組織のコンテンツも加え、公開内容の拡充を進めていきます。また機能面についても、データ駆動型研究を念頭に資料本文のテキストデータ化などの拡充を進め、総合知を創出する研究エコシステム・知のプラットフォームの一端を担う知的インフラとして整備していきます。

【用語説明】

注1. 支倉リーグ（東北大学日本学国際共同大学院 GPJS）

<https://gpjs.tohoku.ac.jp/hasekura/>

東北大学と海外の有力大学との間で、学生・教員が国際・学際的「日本学」の学術交流を推進するネットワーク。進取の気性をあらわす代名詞ともいえる仙台藩士であり、伊達政宗の命による遣欧使節として礼節と見識を示した支倉常長の名を冠している。現在、欧米を中心に 29 大学が参加しており、今後アジア、アフリカ、中南米等への拡大も計画している。

注2. 統合日本学センター

<https://cijs.oii.tohoku.ac.jp/>

2023 年 10 月 1 日に設立された新しいセンター。「支倉リーグ」「日本学国際共同大学院」など国際的な日本学ネットワーク構築の取り組み、および本学が所蔵する文化・学術資源を国際標準に対応すべく構築される「総合知デジタルアーカイブ」と連動して、世界で最大規模の分野横断型「日本学」コミュニティの中核を担う組織となることをめざす。

注3. デジタルヒューマニティーズ

情報科学的手法を用いて人文学の諸課題を研究していく学際的学問分野。

【問い合わせ先】

（システムに関すること）

東北大学附属図書館情報サービス課

貴重書係

TEL: 022-795-5939

Email: touda@grp.tohoku.ac.jp

（報道に関すること）

東北大学附属図書館総務課

情報企画係

TEL: 022-795-5911

Email: lib-som@grp.tohoku.ac.jp